

スコアシート 実施設計段階

配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点		重み係数		全体
		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質						4.3
Q1 室内環境			0.40		-	4.6
1 音環境		3.6	0.15		-	3.6
1.1 室内騒音レベル	ホールのNC値35相当	4.0	0.67		-	
1.2 遮音		-	-		-	
1 開口部遮音性能					-	
2 界壁遮音性能					-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)					-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)					-	
1.3 吸音		3.0	0.33		-	
2 温熱環境		5.0	0.35		-	5.0
2.1 室温制御		5.0	0.50		-	
1 室温	展示室のみを評価。夏季24±2℃、冬季22±2℃設定	5.0	0.60		-	
2 外皮性能	Low-eペアガラスの採用。外壁断熱材厚み35mmを確保。	5.0	0.40		-	
3 ゾーン別制御性		-	-		-	
2.2 湿度制御	展示室のみを評価。湿度55±5%	5.0	0.20		-	
2.3 空調方式	展示室のみを評価。上下温度差2℃程度、居住域気流速度0.15m/s程度	5.0	0.30		-	
3 光・視環境		5.0	0.25		-	5.0
3.1 屋光利用		5.0	0.38		-	
1 屋光率		-	-		-	
2 方位別開口			-		-	
3 屋光利用設備	トップライト、テント屋根の設置、庇により制御された光をガラスCWから取得することによる屋光利用	5.0	1.00		-	
3.2 グレア対策			-		-	
1 屋光制御			-		-	
3.3 照度		-	-		-	
3.4 照明制御	展示室において俯瞰で移動しながら展示ケース照明の調光が可能	5.0	0.63		-	
4 空気質環境		4.5	0.25		-	4.5
4.1 発生源対策		5.0	0.50		-	
1 化学汚染物質	F☆☆☆☆建材をほぼ全面に使用	5.0	1.00		-	
4.2 換気		3.5	0.30		-	
1 換気量	換気量30m³/h・人を確保	4.0	0.50		-	
2 自然換気性能		-	-		-	
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.50		-	
4.3 運用管理		5.0	0.20		-	
1 CO₂の監視	CO₂センサーによる換気風量制御	5.0	0.50		-	
2 喫煙の制御	建物全館禁煙	5.0	0.50		-	
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-	3.9
1 機能性		4.2	0.40		-	4.2
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40		-	
1 広さ・収納性			-		-	
2 高度情報通信設備対応			-		-	
3 バリアフリー計画		3.0	1.00		-	
1.2 心理性・快適性		5.0	0.30		-	
1 広さ感・景観			-		-	
2 リフレッシュスペース			-		-	
3 内装計画	エコマテリアルの積極採用、パースを駆使した事前検証 等	5.0	1.00		-	
1.3 維持管理		5.0	0.30		-	
1 維持管理に配慮した設計	評価する取組数10個	5.0	0.50		-	
2 維持管理用機能の確保	評価する取組数11個	5.0	0.50		-	
2 耐用性・信頼性		4.0	0.30		-	4.0
2.1 耐震・免震・制震・制振		3.8	0.50		-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)	標準保有耐力の1.25倍を確保	4.0	0.80		-	
2 免震・制震・制振性能		3.0	0.20		-	
2.2 部品・部材の耐用年数		4.0	0.30		-	
1 躯体材料の耐用年数	等級2相当	4.0	0.20		-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.20		-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10		-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔	屋外はガルバニウム鋼板を使用	5.0	0.10		-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	給水・排水でBを使用	5.0	0.20		-	
6 主要設備機器の更新必要間隔	更新周期はおおよそ20年前後	4.0	0.20		-	
2.4 信頼性		4.6	0.20		-	
1 空調・換気設備	非常用発電機によるバックアップ。耐震吊り	5.0	0.20		-	
2 給排水・衛生設備	節水型器具、井水利用、雨水利用、受水槽への蛇口設置	5.0	0.20		-	
3 電気設備	GL+5m以上に非常用発電機、変電設備を設置	4.0	0.20		-	
4 機械・配管支持方法	官庁施設の総合耐震計画基準及び同解説の乙類に相当	4.0	0.20		-	
5 通信・情報設備	停電時対応でメタル回線の引込。Jアラートシステムの導入	5.0	0.20		-	
3 対応性・更新性		3.6	0.30		-	3.6
3.1 空間のゆとり		4.0	0.30		-	

3.2 荷重のゆとり	1 階高のゆとり	壁長さ比率=0.16	4.0	1.00		-		
	2 空間の形状・自由さ		3.0	0.30		-		
	3.2 荷重のゆとり		3.0	0.30		-		
	3.3 設備の更新性		3.8	0.40		-		
	1 空調配管の更新性		3.0	0.20		-		
	2 給排水管の更新性		構造部材は痛めることなく更新可能	4.0		0.20		-
	3 電気配線の更新性			3.0		0.10		-
	4 通信配線の更新性			3.0		0.10		-
	5 設備機器の更新性			5.0		0.20		-
	6 バックアップスペースの確保		主要機器更新の際のバックアップスペースを確保	4.0		0.20		-
Q3 室外環境(敷地内)		-	0.30	-	-	4.4		
1 生物環境の保全と創出		緑地の確保等。スコアシート参照	4.0	0.30	-	4.0		
2 まちなみ・景観への配慮		外装ルーバーへの県産材の使用等。スコアシート参照	5.0	0.40	-	5.0		
3 地域性・アメニティへの配慮		4.0	0.30	-	4.0			
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		フローリングへの県産材の使用等。スコアシート参照	5.0	0.50	-			
3.2 敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-				
LR 建築物の環境負荷低減性						4.2		
LR1 エネルギー		-	0.40	-	-	4.9		
1 建物外皮の熱負荷抑制		BPI=0.56	5.0	0.20	-	5.0		
2 自然エネルギー利用		太陽光発電システム、井水の空調熱源利用	5.0	0.10	-	5.0		
3 設備システムの高効率化		[BEI][BEI _m] = 0.68	5.0	0.50	-	5.0		
4 効率的運用			4.5	0.20	-	4.5		
集合住宅以外の評価			4.5	1.00	-			
4.1 モニタリング		BEMSによるモニタリング	5.0	0.50	-			
4.2 運用管理体制		BEMSによるモニタリング	4.0	0.50	-			
集合住宅の評価				-	-			
4.1 モニタリング				-	-			
4.2 運用管理体制				-	-			
LR2 資源・マテリアル		-	0.30	-	-	3.9		
1 水資源保護			3.8	0.20	-	3.8		
1.1 節水		節水型便器の採用	4.0	0.40	-			
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.7	0.60	-			
1 雨水利用システム導入の有無		雨水を貯留し、トイレの洗浄水・屋外の散水栓に利用	4.0	0.70	-			
2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30	-			
2 再生性資源の使用量削減			4.3	0.60	-	4.3		
2.1 材料使用量の削減		評価する取組:3ポイント	4.0	0.10	-			
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20	-			
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		フライアッシュセメント	5.0	0.20	-			
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		別表より3品目以上を採用予定	5.0	0.20	-			
2.5 持続可能な森林から産出された木材			3.0	0.10	-			
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		評価する取組:2項目	5.0	0.20	-			
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.20	-	3.0		
3.1 有害物質を含まない材料の使用		接着剤・塗料等において有害物質を含まない材料を使用予定	4.0	0.30	-			
3.2 フロン・ハロンの回避			2.6	0.70	-			
1 消火剤			2.0	0.33	-			
2 発泡剤(断熱材等)			3.0	0.33	-			
3 冷媒			3.0	0.33	-			
LR3 敷地外環境		-	0.30	-	-	3.6		
1 地球温暖化への配慮		排出率71%	4.1	0.33	-	4.1		
2 地域環境への配慮			3.6	0.33	-	3.6		
2.1 大気汚染防止		燃焼機器の使用は無し	5.0	0.25	-			
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-			
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.7	0.25	-			
1 雨水排水負荷低減		雨水貯留槽の設置	4.0	0.25	-			
2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.25	-			
3 交通負荷抑制		駐車場・駐輪場の確保。搬入車両は別動線とするなどの配慮	5.0	0.25	-			
4 廃棄物処理負荷抑制			3.0	0.25	-			
3 周辺環境への配慮			3.2	0.33	-	3.2		
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-			
1 騒音			3.0	0.33	-			
2 振動			3.0	0.33	-			
3 悪臭			3.0	0.33	-			
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40	-			
1 風害の抑制			3.0	0.70	-			
2 砂塵の抑制			3.0	-	-			
3 日照阻害の抑制			3.0	0.30	-			
3.3 光害の抑制			4.4	0.20	-			
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		星空保全条例に適合した外構照明計画	5.0	0.70	-			
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	-			